

秋季拡大研修会 開催！



平成28年11月13日(日)
多治見市 セラミックパークMINO



中津川市民病院 市川 浩良

平成28年11月13日(日)多治見市のセラミックパーク MINO において、平成28年度秋季拡大研修会を開催しました。当日は秋晴れの行楽日和でしたが、東濃地区ばかりでなく岐阜県全域からも多くの方に参加して頂きました。参加者は岐臨技会員86名 賛助会員12名 市民公開講座への市民の参加11名でした。

テーマは『肺炎』という事で、臨床微生物部門からは東濃厚生病院の柴田尚宏先生、染色体・遺伝子部門からは江南厚生病院の河内誠先生を招いて研修会を行いました。

柴田先生には様々な症例報告のなかで、経験的治療を行う際にどのような事を考慮しているかを知る事が出来てとても参考になりました。

河内先生には遺伝子検査の有用性や導入するにあたっての問題点など貴重な話を聞くことが出来ました。

市民公開講座では睡眠医療のエキスパートである中部大学の宮崎総一郎先生を招き、睡眠の大切さや睡眠の取り方など楽しく分かりやすく講演して頂きました。

最後になりますが、不慣れな運営の中、兼子会長をはじめ実行委員、座長を引き受けていただいた先生方の協力のおかげで無事終える事が出来たことを感謝いたします。

3月12日(日)には同じ会場で県学会を開催します。こちらも参加をお願いします。



予告！

29年3月12日(日) 岐阜県医学検査学会 開催！セラミックパークMINOだよ！

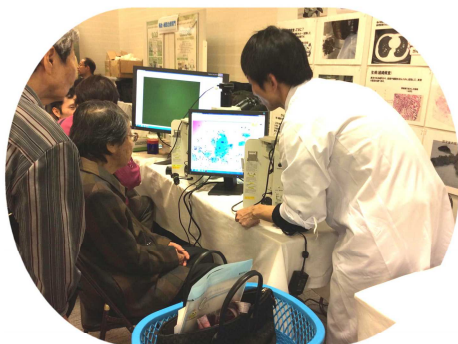
検査と健康展 開催！

平成 28 年 11 月 20 日（日）
大垣市 アルプラザ鶴見



大垣徳洲会病院 清水 康之

平成 28 年 11 月 20 日（日）に大垣市鶴見町のアルプラザ鶴見で岐阜県では第 2 回目となる検査と健康展が開催されました。技師会からはフロアスタッフとして 12 名、各学術部門から 24 名の計 36 名、検査医の先生が 2 名協力していただきました。超音波検査、手洗いチェック、口腔内細胞観察などの学術部門の企画や血管年齢、骨密度などの健康チェックは順番待ちの人が多く見られ大変盛況でした。検査医の先生による健康相談コーナーも前に測定した自分の検査結果を持って来られる人もおり、参加者の健康に対する意識の高さを感じられました。今回協力していただいたスタッフの人たちにより臨床検査とはどのようなものなのか地域の住民の皆さんにアピールできたと思います。今回来場者は 400 名を超え来年度も更に魅力的なものにしていき、臨床検査技師の地位向上に努めていきたいです。



たくさんのご来場者で
会場は大盛況でした！



市民とふれあう健康イベントへ参加しました！

第37回ぎふ市民健康まつり

揖斐厚生病院 後藤 浩

11月6日(日)

岐阜市文化センター

1階催し広場

平成 28 年 11 月 6 日(日)、岐阜市文化センター1階催し広場にて、岐阜市主催の「ぎふ市民健康まつり」が開催されました。本イベントは、市民参加型事業として市民、医師会・薬剤師会などの 12 の健康関連団体と行政が協力して健康に関する知識を深め、体験する場を提供することにより健康づくりを進めることを目的としており、検査技師会も活動の一環として、臨床検査コーナーというブースを設けて参加いたしました。

当日は天候にも恵まれ、会場の延べ参加人数は、昨年より約 2,000 名多い 16,401 名で、検査コーナーでは「尿検査」、「血管年齢測定」、「頸動脈超音波検査」を行いました。それぞれ 224 名、785 名、202 名、計 1,211 名と行列ができるほどの多くの市民の方にご参加いただき、盛会裡に終えることができました。

私にとっては、責任者でありながら「健康まつり」イベントは初めてのことであり、雲を掴む思いで始めましたが、企画から準備・当日の運営まで岐阜地区の新旧理事・ワーキングメンバーの方と当日 48 名という過去最多のボランティアの有志スタッフに支えられ、チームワークよく終えることができました。多くの市民の皆さんに健康づくりへの意識づけの手助けと検査技師の業務を知っていただけたのではないかと思います。大変でしたが、よい経験をさせていただきました。来年度に繋げていきたいと思っています。



参加スタッフをはじめ技師会、事務所の方々のご協力に心より深く感謝申し上げます。なお準備ならびに運営にあたり、何かと不行き届きの点がございました事、ご容赦のほどお願い申し上げます。ありがとうございました。

第20回 大垣市市民の健康広場

10月16日(日)

大垣城ホール



大垣市民病院 高木明美

爽やかな秋晴れの中、大垣市市民の健康広場が 10 月 16 日(日)大垣城ホールで開催され、本年も岐阜県臨床検査技師会として参加した。ブース内では血管年齢・骨密度測定を行い、検査結果チェックリストを用いた説明を実施した。パネルの展示、動脈硬化等のリーフレットの配布活動も行った。

1900 名の来場者うち 215 名(午前 118 名、午後 97 名)の方々がブースを訪れ、検査に関心を持っていただけたと思われた。『血管年齢』『骨密度』の測定では高齢者が多かったが、小さいお子さん連れの家族の方も測定に訪れ、臨床検査技師という耳慣れない職業にも興味を持っていただけたと感じた。大変有意義な 1 日となった。





高山赤十字病院

高山赤十字病院は、人道、博愛、奉仕の赤十字精神に則り、飛騨地域の急性期医療、高度医療に貢献し、安全でより良い医療を提供することを目指しています。飛騨地方の中核病院でもあります。観光地ということもあり、県外や海外からの旅行者の受診も多くみられます。高山駅の改装、映画「君の名は。」の聖地巡礼ブーム、高山祭も含まれている日本の「山・鉾・屋台行事」の「ユネスコ世界無形文化遺産」登録決定など、ますます観光客の増加が予想されています。

当院検査部は、常勤 24 名、臨時職員 2 名で、生化学・免疫・一般、血液、輸血、細菌、病理、生理部門を構成しています。「医療人としての自覚と責任を持ち信頼される検査部であること」を職場目標とし、日々の検査に励んでいます。他の施設同様に、DM 指導、NST、ICT 等の活動も積極的に行っています。

本年当院は、病院機能評価（一般病院 2<3rdG:Ver.1.1>）を受審し、認定されました。検査部としても認定にむけて、マニュアルの整備等職場環境の改善に努力してきました。患者さまにより良い医療の提供のために、これを新たなスタートとしていきたいと思ひます。

寒さが厳しい季節となってきましたが、高山は冬も楽しめます。ウィンタースポーツを楽しんだり、温泉につかったり、雪景色を見ながらおいしいお酒を飲んだり…ぜひ遊びにいらしてください。

堂田 多恵子



「あっ、この先生懐かしい！ちょっと老けたかな？」「この先生は新しい先生？」なつかしむ声が聞こえてきそうです。写真は今現在の臨床検査学科教員一同です。

前身の国際医学総合技術学院(1973 年～)に始まり、岐阜医療技術短期大学(1983 年～2005 年)を経て今年度で 11 回生を迎える岐阜医療科学大学となりました。校名は変わっても建学の精神「技術者たるまえによき人間たれ」は引き継がれております。卒業生は前身校から数えると 3995 名(H28.3 まで)となり、全国各地でご活躍されております。今年度から大学院も開設され、建物も少しずつ様変わりして在校生ともども、我々も日々「よりよい臨床検査技師」を育成するために頑張っております。現場を離れている教員も技師会主催学会、勉強会に積極的に参加し、めまぐるしく進歩していく臨床検査に置いていかれないよう勉強している毎日です。10 月末は学園祭開催期間中に卒業生を対

岐阜医療科学大学



象とした「GUMS フォーラム」も開催しております。詳細は HP 上に公開しますので是非足を運んでいただき、フォーラム、また学園祭も楽しんでいただけたらと思っております。卒業生も含め現場の先生方と情報交換しながら建学の精神を基に「よりよい臨床検査技師」を育成するために頑張っていきたいと思っております。今後ともご指導よろしくお願い致します。高崎 昭彦

発行所(一社)岐阜県臨床検査技師会

発行責任者 兼子 徹

〒500-8384 岐阜市藪田南3 丁目5 番地 10 コスタ岐阜県庁前 603 号

TEL 058-275-5596 FAX 058-213-0220

編集者

高崎 昭彦

松浦 康博

種村 久子

E-mail

giringi-office@giringi.jp